

製品名: FoxR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11119**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXR1
別名	FOXR1; FOXN5; DLNB13; Forkhead box protein R1; Forkhead box protein N5
遺伝子 ID	283150.0
SwissProt ID	Q6PIV2
免疫原	抗血清はヒト FOXR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

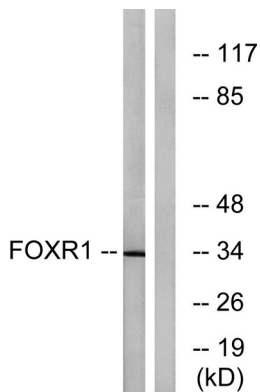
この遺伝子は、フォークヘッドボックス (FOX) 転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。FOX ファミリーのメンバーは、約 110 アミノ酸からなるコア DNA 結合ドメインを有する、単量体のヘリックス・ターン・ヘリックスタンパク質です。多くの

FOX 転写因子は、初期発生における細胞運命決定において役割を果たしています。このフォークヘッドボックスタンパク質は、他の多くの FOX ファミリーメンバーに見られる C 末端基本領域を欠いています。神経芽腫で一般的に欠失している 11q23.3 領域内に位置しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],類似性: 1つのフォークヘッド DNA 結合ドメインを含みます。 ,

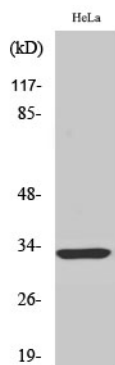
研究分野

-

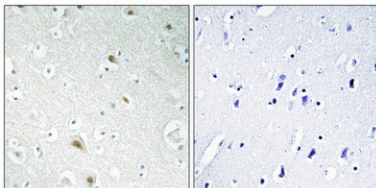
画像データ



FOXR1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FoxR1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。